

## 1. 活動の概要

6月21日(金)、奥出雲町立布勢小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに小学校周辺の遺跡について、空撮画像を使用して説明しました。周辺にどれくらい遺跡があるのか？県内にはどれくらい遺跡があるのか問いかけながら進めましたが、思っていた以上に周辺には遺跡があることを知り、子供たちはとても驚いた様子でした。

次に縄文時代～古墳時代の様々な遺物について、実際に近所の横穴墓から出土したものや町内出土の遺物を紹介しながら説明しました。そして本物を見たり触ったりしながら、興味深くその重さや手触りを確認しながら、古代の人々の生活に思いを馳せていました。

休憩の後、金属鏡づくり体験を行いました。金属を溶かして鋳型に入れる作業は、危険を伴うものですが、とても印象に残ったようでした。鋳型から出した鏡を研磨する作業は、全員が集中し一生懸命作業しました。少しでもピカピカになるよう磨きあげました。

## 2. 活動の様子



「この遺物は近くの遺跡から発見されました。」



「小学校の周辺から見つかった土器を触ってみる」

## 3. 子ども塾を終えて

### 1) 児童の皆さんから…

- 周辺にはたくさんの遺跡があることを知った。
- 鏡作りが一番心に残った。
- 土器の種類が分かった。作ってみたい。
- 古墳のことをもっと知りたいたいです。
- 布勢の遺跡に行ってみたい。
- 日本でどのくらい遺跡があるのか知りたい。



「まず、金属を溶かしてから鋳型に入れます。」

### 2) 担任の先生から…

- 地域の遺跡のことなので保護者と一緒に行く活動にすれば良かった。
- 遺跡の説明を聞いた後、実際に地域の遺跡見学をすれば良かった。
- 地域の話や本物の出土品が見ることができたことは良かった。
- 体験活動があり、より楽しい授業になり、古代への興味を持つことができた。
- ホームページに掲載されていた過去の活動例、指導案等が大変参考になりました。

### 3) 埋文センターから

学校や自分の家の周りに遺跡がたくさんあることを知ったことで、身近に感じてもらえるきっかけになったと思います。金属鏡作りでは、研磨の段階で深い傷が残った児童がいて思い通りに仕上がらなかった点が反省点です。今後は全員が上手く仕上げることができるように改善していきたいと考えています。